

## 第2学年7組 学級活動学習指導案

平成25年10月10日(木) 第5校時

2の7教室 指導者 池田 義和

### 1 題材名 職場体験に向けて学級のスローガンを考えよう

### 2 目標

- (1) 課題をもち、主体的に職場体験に取り組むことを通して、働くことには大変さと喜びの両面があることや、働くことを通して自ら成長することができることに気づくことができる。
- (2) 図書資料やVTR、職業人の講演、職場体験を通して、自分の特性を認識するとともに、集団の中で自分の力を生かそうとする意識をもつことができる。

### 3 生徒の実態

本校では、生徒会主催の清掃活動である「3Sデー」をゼロのつく日に行っている。ボランティアであるが、代議員の呼びかけや生徒会の働きかけもあり、学級では毎回ほぼ全員が参加している。毎年5月に行われる学校行事「茶摘み」では、茶園主から「また来年も来てほしい」と言われるほど質の高い取り組みができた。生徒会や学校の行事に対して、前向きに取り組むことができる学級である。また、授業・給食・掃除を三本柱として日常生活の質向上に取り組んでいる。チャイム席を呼びかける生徒や給食準備を手伝う生徒、無言で掃除に取り組む生徒が増えており、意識の高さがうかがえるようになってきた。

体育大会では、応援合戦で優勝を目指して学級で団結して取り組むことができた。学級全員がまとまるまでには、やりたくない、苦手という子に対して学級のリーダーたちが関わり続けていた。応援合戦の結果はともかく、学級でまとまることの喜びを感じることができた。A子は、何事にも熱心に取り組むことができる。体育大会の練習でも、苦手な子に声をかけたり、わからないことをリーダーに尋ねたりして、取り組むことができた。自分からコミュニケーションをとることが苦手なA子にとって、大きな成長の場となった。職場体験を通して、A子が自分に自信をもち、仲間と積極的に関わることができるようになってほしい。そして、最高学年に向けて、自分たちで目標を設定し、学級で一丸となって取り組むことができるようになってほしいと願っている。

### 4 単元観

文部科学省は、中学校におけるキャリア教育の目標として、①肯定的自己理解と自己有用感の獲得、②興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成、③進路計画の立案と暫定的選択、④生き方や進路に関する現実的探索の4つを挙げている。本単元では、上記4つのうち②④を目標として取り上げる。総合的な学習の時間や特別活動、道徳の時間を組み合わせて職場体験の事前・事後の学習を充実させることで、生徒たちがよりよい職業観・勤労観を形成し、自らの進路について前向きに考えていくことができるよう単元を構想した。

本単元を中心とする学習活動である職場体験では、労働現場で実際に働くことを通して自分の特徴を見つめたり、働くことの大変さや喜びを感じたりすることができる。また、働く人の姿に触れることを通して、職業観や勤労観を養う絶好の機会である。本単元の学習を通して、働くことの意義を理解し、希望する職業や進路について、自分の特性をふまえて考えることができるようになってほしいと願っている。

そのために、「ときめく」段階では、適性検査を行って自分の特性を見つめさせ、図書資料やVTRの視聴、講演などを通して、働くことに対するイメージをもち、自分に合った職業を考えることができるようにする。「みがく」段階では、職業調べや事前訪問を通してわかったことや感じたことをもとに、学級で「これだけは全員ががんばろう!」ということのスローガンとして設定し、課題をもって職場体験に臨むことができるようにする。「はばたく」段階では、職場体験で経験したことや学んだことを交流する場を設けることで、どのような職種でも働くことには大変さと喜びの両面があることに気づかせる。

### 5 いきいきと学び合わせるための手立て

#### ・VTRや書籍、講演の活用

働くことの意味や仕事のやりがいを理解することができるようにするため、学級文庫に将来の夢や働くことに関する書籍を置いたり、『アンビシャス』に目を通す時間を確保したり、「先輩の話を開く会」を開催したり、NHK制作「道徳ドキュメント」VTRを視聴したりし、働く人の思いに触れる場を設定する。

#### ・スローガンの設定

職場体験で学級全員ががんばるものを決め、一丸となって取り組むことができるようにするために、学級のスローガンを話し合う。

#### ・情報を共有する場の設定

職場体験での学びを交流してスローガンについて振り返ったり、レポートを作成して読み合ったり、プレゼンテーションソフトを用いて学びを聞き合ったりすることで、職場体験で学んだことを自分の進路決定や今後の生活に生かすことができるように情報を共有する場を設定する。

【過程】

【学習の流れ】

【教師支援・評価】

と き め く  8 時 間	「自分の将来」について考えよう	・オリエンテーションで、職場体験の中身や職場体験に向けた活動の予定を伝えることで、生徒に今後の活動の見通しをもたせる。 ・どの職業を調べたらよいかわからない生徒に対しては、「好きなことや興味のあることは何か」と尋ね、そのことに関連する職業について調べさせる。 ・適性検査の結果については、あくまで検査であり、参考程度に扱うように伝える。 ・事前に『アンビシャス〜100人の仕事〜』に掲載された村田さんのインタビューに目を通す時間を設け、看護師の仕事についての基礎知識をもたせた上で講演に臨むようにする。 評) 職業に興味をもち、意欲的に仕事の内容や必要な資格を調べるとともに、自分の将来の進路について真剣に考えることができたか、ワークシートや感想、日記の記述から判断する。
	職場体験の意義を知ろう (学活1)	
	○職場体験オリエンテーションから概要と意義を知る。 ・今まで進路のことは考えてなかったけど、これから考えていきたいな。 ・ぼくは野球選手になりたいんだけど、そのために必要なことは何だろう。	
	自分が興味のある職業について調べよう (総合2)	
	○インターネットや図書資料を使って、興味のある職業について、仕事の内容、必要な資格などを調べる。 ・自動車に関わる仕事を調べたけど、必要な資格がたくさんあるんだな。 ・パティシエについて調べたら、ただスイーツを作るだけじゃなくて、できるようにならなければいけないことがたくさんあるとわかったよ。	
	自分がどんな職業に向いているか調べよう (学活2)	
○職業適性検査を行い、自分がどんな職業に向いているか調べる。 ・自分の希望している職業に向いているってわかったよ。 ・希望の職業には向いていないみたいだけど、自分の夢だから、あきらめないでいたいな。		
今、働いている人は、どんなことを考えて働いているのだろうか (総合2)	・事前に『アンビシャス〜100人の仕事〜』に掲載された村田さんのインタビューに目を通す時間を設け、看護師の仕事についての基礎知識をもたせた上で講演に臨むようにする。 評) 職業に興味をもち、意欲的に仕事の内容や必要な資格を調べるとともに、自分の将来の進路について真剣に考えることができたか、ワークシートや感想、日記の記述から判断する。	
○看護師の村田さんの話を聞き、働くことや職業を決定することについて考える。 ・村田さんの話を聞いて、どんな仕事でも苦勞もあればやりがいもあることがわかったよ。 ・私は自分の将来の職業をまだ決めていないけれど、村田さんのように、自分の好きなことを仕事にできたらいいな。		
自分の仕事を見つけるまで (道徳1)		
○障害がありながらも、自立を目指して奮闘する新藤さんの姿から、仕事に対する喜びや努力を知る。 ・新藤さんのVTRを見て、自分を生かす仕事の選び方もあるんだなあとと思ったよ。 ・夢をかなえるためには、あきらめないことが大切だし、周りが理解して支えてあげることも大切だとわかったよ。		
自分の将来について調べたり考えたりすることができたよ。職場体験で実際に働いてみることで、もっと具体的に考えられるようにしたいな。		
み が く  3 2 時 間	「働くことの意味」について考えよう	・体験先に電話連絡する際には、事前に話すことを相談する時間を設けることで、体験先の方に失礼のないようにする。 ・事前訪問を行う前に、職場体験で心配なことや体験先に確認しておくことを相談する時間を設け、安心して職場体験を迎えられるようにする。 ・事前訪問では、職場で働く人に期待される人物像を聞き、個人の課題づくりの参考にできるようにする。
	職場体験の体験先を決めよう (学活3)	
	○職場体験の体験先を決める。 ・将来は接客の仕事に就きたいから、ファストフード店を希望したよ。 ・動物と関わる仕事に就きたいから、動物園や水族館を希望したよ。	
	○体験する職場に電話で依頼する。 ・電話で依頼するときには、言葉遣いや短く正確に伝えることに気をつけたよ。 ・ぼくが働く職場では、どんな人が求められているのかな。	
	体験先の職業について下調べしよう (総合6)	
	○体験先の仕事内容について下調べをする。 ・自分が体験することだから、できるだけ詳しく調べてみたよ。 ・どんなことが体験できるのか、実際に聞いてみたいな。 ○体験先への事前訪問を通して、仕事の内容や気をつけることを知る。 ・思っていたよりも、仕事の内容がたくさんあるよ。 ・せっかく体験するのだから、喜ばれる働き方をしたいな。	

働く楽しさを見つけた (道徳1)

○駐輪場でいきいきと働く安田さんの姿から、仕事のやりがいとは何か考える。

- ・だれよりも早く出勤し、お客さんに声をかける安田さんは、自分の仕事に誇りをもって働いていて、かっこいいなあと思った。
- ・自分がしたことによって、お客さんに「ありがとう」と言ってもらえたときの安田さんの表情が輝いていたよ。人のために行動するって、自分もうれしくなることなんだね。

職場体験に向けて学級のスローガンを考えよう (学活2)【本時2/2】

○下調べや事前訪問を通して学んだことをもとに、職場体験に向けた学級のスローガンを話し合う。

- ・受け入れてくださった職場のみなさんや、お店に来てくださったお客さんたちに喜んでもらえるような職場体験にするには、どんなものがいいかな。
- ・働くときには、たくさんの人に接するから、「あいさつ」を学級のスローガンに入れてがんばりたいな。
- ・ぼくたちの行動が遅いと、職場の方に迷惑をかけるから、「素早く行動すること」を大事にするといいよ。

職場体験に意欲的に取り組もう (総合18)

○それぞれが希望した事業所で職場体験を行う。

- ・接客の仕事を担当する人は、接客だけじゃなくて、お客さんが喜んでくれるように考えて、いろんな仕事をしていたよ。
- ・看護師は命を預かる仕事で大変だけど、働いている人は、やりがいをもっていると言っていたよ。

職場体験をふりかえろう (学活2)

○職場体験で学んだことを発表し、ワークシートにふりかえりを書く。

- ・働くことは大変なことだけど、それぞれの仕事にやりがいがあったり、働く人それぞれに働く目的があったりしたよ。
- ・職場体験で学んだことをいかして、自分の将来の職業について、もう一度じっくりと考えてみたいな。

○体験先にお礼の手紙を書く。

職場体験で実際に働いてみて、働くことの意味を考えることができたよ。他の職業を体験した子たちの考えも聞いてみたいな。

職場体験学習を終えた自分の課題を考えよう

職場体験で学んだことを個人レポートにまとめよう (総合2)

○職場体験学習全体を通して学んだことや、自分の課題と手立ての検証、今後の自分の課題をレポートにまとめる。

- ・飲食店で働いて、自分ががんばったことでお客さんが喜んでくれてうれしかったよ。自分は人と接するにが苦手だと思っていたけど、自分の行動次第で変えられることがわかったから、学校生活でもいかしたいな。
- ・私は看護師の体験を通して、自分の力を人のために役立てることに喜びを知ったよ。患者さんが喜んでくれたときは、看護師さんもすごくうれしそうなお表情をしていたな。

職場体験で学んだことを発表しよう (総合5)

○個人レポートをもとに、職場体験学習で学んだことを、プレゼンテーションソフトを使ってまとめ、発表会を行う。

- ・みんなの発表を聞いて、どの体験先でも働くことは大変なんだなと思ったよ。きっと、家族も同じように大変な思いをして働いているんだね。
- ・どこの職場で働いている人にも、その仕事に対する思いや、働くことの喜びがあることがわかったよ。

働くことは大変なことだけれど、仕事を通して喜びを得ることができし、自分を成長させられることがわかったよ。これからの学校生活や、進路を決めるときに、いかしていきたいな。

・単元に組み込んだ2つの道徳の授業では、VTRを用いて、新藤さんや安田さんが考える働くことの喜びに気づかせ、働くことへのよいイメージをもつことができるようにする。

・ワークシートを用意し、下調べや事前訪問で学んだことを発表させたり、職種ごとのグループで話し合ったりすることを通して、職場体験に向けた学級のスローガンを話し合う。

・職場体験では、「職場体験日誌」を用意し、その日の活動内容や気づいたことなどを記入することで、課題に対する自分の取り組みを評価できるようにする。

評)働くことの意味を考えるとともに、自分なりの課題をもって職場体験に取り組むことができたか、発表の内容やワークシートの記述から判断する。

・レポートをまとめる際には、職場体験前に設定した課題について記述させるとともに、職場体験での学びを今後の生活や進路にどのように生かしていくかについても記述させる。

・プレゼンテーションを1人1ページ作成させる際には、職種でグループを編成して行い、職場体験での気づきを共有できるようにする。

評)レポートの作成や発表を通して、働くことの意味を考えたことができたか、レポートや発表の内容から判断する。

みかく  
32時間

はばたく  
7時間

## 7 本時の学習

### (1) 目標

- ・下調べや事前訪問を通して学んだことをもとに、職場体験に向けて学級全体で取り組むスローガンを話し合う。

### (2) 過程

時間	生徒の活動	指導上の留意点
5分	<p>1 事前訪問で得た学びを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の人からは、「とにかく明るく接してほしい」と言われたよ。だから、あいさつとか態度とかがお店のイメージにとって大事だと思ったよ。</li> </ul> <p>2 本時の課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にふりかえりを書かせて生徒の考えを把握しておき、事業所からの要望や自分ががんばりたいことが書かれたものを取り上げる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     職場体験に向けて学級のスローガンを考えよう                 </div>		
40分	<p>3 下調べや事前訪問を通して学んだことをもとに、職場体験に向けた学級のスローガンを話し合う。</p> <p>【だれよりも元気にあいさつしよう】</p> <p>働くときには、たくさんの人に接するから、だれよりも元気にあいさつができれば、お店の人にもお客さんにも喜んでもらえるよ。</p> <p>【素早く行動しよう】</p> <p>ぼくたちの行動が遅いと、職場の方に迷惑をかけるし、お店のイメージを傷つけることにもなるから、「素早く行動する」ことを大事にするといいよ。</p> <p>【感謝の気持ちをあらわそう】</p> <p>忙しい中、職場体験を受け入れてくださった方に、感謝の気持ちをこめて何か贈り物をしたらどうかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で考えさせたスローガンを発表させる。その際には、なぜそのスローガンを考えたか、理由をつけて発表するようにする。</li> <li>・生徒が考えたスローガンがひとつにまとまらない場合には、3つ程度に絞ったり、折衷案を出させたりする。</li> <li>・事前に生徒の考えを把握しておき、似た意見をまとめたり、興味深い意見を発表させたりし、意図的な指名に役立てる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     職場体験での自分の目標を考えよう                 </div>		
	<p>4 それぞれの事業所で取り組む自分の目標を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園児が楽しく過ごせるように、ずっと笑顔で取り組みたいです。(幼稚園・保育園)</li> <li>・人の命を預かる仕事だから、間違えることがないように、教えてください人の話をよく聞いて行動したいです。(看護師)</li> <li>・お客さんに喜んでもらえるように、あいさつや返事をがんばりたいです。(飲食店)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の目標が決まらない生徒に対しては、個別に声をかけたり、例を示したりする。</li> <li>・具体的なものや、働く人の思いに目を向けているもの、働く人の工夫に目をつけているものなどを学級全体に紹介する。</li> </ul>
5分	<p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、小学校で、「先生たちが小学生にわかりやすく勉強を教えるためにどんな工夫をしているのか」を学んできます。先生たちがしていることを見て、考えていることを聞いて、自分でやってみて、詳しく学んできたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導を行い、本時の学習で課題や手立てを設定することを通して、職場体験への意欲が高まった生徒のふりかえりを取り上げて発表させる。</li> </ul>

### (3) 評価

- ・学級スローガンの話し合いに意欲的に参加することができたか、発表やワークシート、話し合いでの態度から判断する。